

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 平成22年度の業務の実績に関する評価結果の概要

1 地方独立行政法人の評価制度

県は、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）が5年間で達成すべき目標（以下「中期目標」という。）を定め、これに対し法人は、中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を作成し、中期計画に従って5年間の業務運営を自主的・自律的に行う一方で、法人の業務の実績を第三者機関である評価委員会が事後に評価する制度が設けられました。

評価委員会は、法人が5年間で中期目標を達成できたかを評価することになりますが、各事業年度においても、中期計画の実施状況の評価し、中期目標の達成に向けて順調に進んでいるかをチェックすることになっています。

2 評価結果の概要

全体評価 A（中期目標の達成に向けて順調に進んでいる）

S	中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合）
A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる
B	中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる
C	中期目標の達成のためにはやや遅れている
D	中期目標の達成のためには重大な遅れがある

大項目	評価の内容（特筆すべき点・課題）	
住民サービス等の質の向上	特筆すべき点	<p>外科手術時の手術室における安全確認手続（タイムアウト）を導入したほか、専従の院内感染管理看護師を配置して院内感染防止対策を徹底するなど、高度で安全な医療の確保に関する充実した取組が見られる。病棟の新築移転により、患者の入院環境が飛躍的に向上したほか、緩和ケア病棟に関しては計画どおりに運用が開始され、入院患者のみならず地域の在宅患者の外来診療も受け入れるなど、積極的な取組が行われている。</p> <p>心臓血管手術の件数が大幅に増加したことは、取組の効果であり、評価できる。</p> <p>日常の診療に加え、突発的な大規模災害の応援要請に迅速に対応し、医療支援を実施したことは評価できる。</p>
	課題	<p>診療待ち時間の短縮に係る改善策をより積極的に講じられたい。また、待ち時間の改善をさらに図るため、調査を実施し、目標値の設定も併せて検討されたい。</p>
業務運営の改善及び効率化	特筆すべき点	<p>契約方法の見直し等の検討のみならず、実行に移したことで、大幅に経費削減の効果を得ることができたことは、法人化の効果として評価できる。</p>
	課題	<p>外部委託を行うのみでなく、費用対効果など委託契約の質のチェック機能を向上するための仕組みを構築することを期待したい。</p>
予算、収支計画及び資金計画	特筆すべき点	<p>経常収支比率（103.3%）及び職員給与費対医業収益比率（49.5%）は既に中期目標を達成しており、経営努力は非常に評価できる。</p>
その他の業務運営	課題	<p>医療従事者の負担軽減は、重要な課題であり、医療クランク（医療事務作業補助者）等については、必要数を把握して効果的に配置することを検討すべきである。</p>

